

三箇校区福祉だより

三箇校区福祉委員会 No.59

しあわせ
福祉広げて



共に学び共に生きる

令和2年3月(2020年) [編集・発行] 三箇校区福祉委員会

〒574-0077 大東市三箇4丁目1番5号 (電話) 072-873-8878

ふれあいサロン予定

《日時》3月26日(木) 午後1時から

《場所》三箇自治会館(三箇4丁目1-5)

《内容》三箇校区福祉まつり<大正琴と講演>



お楽しみに！

[連絡先] 873-8878 (三箇自治会館) 三箇校区福祉委員会事務局

※車いすを利用されている方など、介護タクシーが必要な場合は、当委員会で手配しますので、下記の連絡先又は担当の民生委員に連絡してください。

◇おしらせ

新型コロナウイルスが世界中で流行しており、三箇校区福祉委員会では感染予防のため2月下旬より「ふれあいサロン」「子育てサロン」「元気出ませ体操」などの行事を中止しております。今後の情勢を見守りつつ再開を目指しますので、ご了解をお願いいたします。

※あんまちメールだより

2月4日(火)夕方、三箇1丁目14-13付近路上において、強盗事件が発生しました。2組の男がすれ違いざまに2人の男性に襲い掛かり、蹴るなどの暴行を加え、金銭を奪って逃走しました。自分は大丈夫と思わずくれぐれも用心してください。

カード詐欺にもくれぐれもご注意ください。ひっかかってはだめですよー。

四條畷警察署 072-875-1234

元気でまっせ体操

新型コロナウイルス
感染予防のため、3月
中は中止としますので
ご了承ください。

- ◆ [三箇自治会館]
午前10時～11時30分
- ◆ [三箇二丁目公民館]
午前10時～正午
- ◆ [新和町自治会館]
午後1時～2時30分
(※ 都合で中止になる場合があります。)



フォトニュース

◇1月23日(木)「剣舞、大道芸(玉手バコ)」の皆さんでした。参加者32名、スタッフ18名



涼貴さんこと三箇自治会役員の方です。



80 うん才の座長さんです。



玉手バコの皆さんは、いろんなところを訪問され、楽しませてくださっています。ありがとうございます。



◇三箇地域コミュニティ市民会議ニュース

2月16日(日)午前9時より、三箇地域コミュニティ市民会議主催の「令和元年度防災訓練」が三箇小学校において行われ、降雨の中にもかかわらず190名の方が参加されました。車いすを使用したの参集訓練に始まり、避難者カード記載、心肺蘇生及びAED操作、水消火器操作、初期消火器具操作、大東市危機管理室による講演を体験していただき、女性防火クラブの皆さんによるアルファー化米炊き出しと非常用ホイッスルを持ち帰っていただきました。

訓練風景





こんにちは

北部包括です

みなさん、こんにちは。大東市地域包括支援センター成林です。今年は例年になく暖冬の影響を感じつつ、早くも3月になりました。もうすぐ、卒業式の季節ですが今年は卒業式に桜が見ごろになるかも知れません。

私が3月で思い浮かべるのは東日本大震災です。被災地では現在も困難な生活を強いられている方々がいらっしゃることを毎年3月11日になると思い返されます。そんな中、あらためて防災についてお話ししたいと思います。防災と一言で言っても漠然としています。今回は「昔の常識＝今は非常識」について簡単にまとめました。

まず、地震が起きたら、机の下に隠れるというのは地震発生時の常套句となっていますが、現在は震度6以上の地震が発生した際は建物自体が倒壊する可能性がある為、机の下にもぐり、様子を窺うのではなく、直ちに出入り口に向かい、脱出できる体制を確保する事が重要と気象庁が発表しています。

次の「今は非常識」は地震発生時に炊事等で火を使っている際に「火を止める」です。現在は地震発生時に室外にあるガスメーターが震度5以上の地震を検知すると自動的にガスが遮断される仕組みになっています。むしろ、無理に火を止めようとして火傷を負う可能性が高まり危険です。また、電気に関しては脱出前に余裕があれば、ブレーカを落とす作業は必要です。なぜなら、阪神大震災の火災原因の6割の電気が復旧した際の通電火災によるものだからです。さらに火災で一つうんちくネタを紹介します。もし万が一、屋外で地震に遭った際はガソリンスタンドに逃げましょう。ガソリンスタンドは建築基準法による設置基準が非常に厳しいもとで建造されています。このため、周囲が焼け野原になってもガソリンスタンドだけは火災を免れ、火災ゼロという実績が阪神大震災時に証明されています。今後、もしもの時に今回のお話を覚えていただければ幸いです。

(寄稿 大東市北部地域包括支援センター 社会福祉士 成林宏晃)

大東市北部地域包括支援センター	072-800-3766
大東市基幹型地域包括支援センター	072-800-5374



❁心も体も柔らかく：⑪

「エンディングノートについて」

エンディングノートをご存じですか？人生を振り返り、あなたに関する情報や要望・希望をわかりやすくまとめ、しっかりと残しておくことで、家族を助けるもの。それが、エンディングノートです。ご自身やご家族のこと、財産、もしもの時のこと、書くことによって思いを自然と整理できます。そして、「これからの人生のあり方を考える」きっかけになることもエンディングノートの大きな役割です。元気な間に、ご自身で、ご家族で考えてみましょう。・・・。

自分らしいエンディングを迎えることが出来るように・・・。
葬儀や遺産の話をする、縁起でもないと思われそうですが残された家族が困らないように、揉めることのないように、そしてご自身が今後の人生の送り方を考える上でとても大切な話合いです。



❁毎日の生活の中で、一人で悩まず何か気になること、不安なことがあればどうぞ話してくださいね。❁

安心・いきいきネット相談支援センター慶生会 住道
CSW❁齊藤めぐみ❁ ☎072-806-2880